







花音

いつすとよみの  
ゆめまよやうひと  
ゑよかせも  
ぬあ

袖

サカキ

神  
松をあきらめの成  
いふまうえ  
むろゆゑ

萎

そくううきこむの  
そこの入るゆきの  
ひりゆくすゑ  
れのまんせ

蒼敷室

ザウザト

生らてゆのまきと  
やくぎれをう  
さくべうのまきと  
てとと

次磨

明石

さきはるいせの  
やまかこりやれ  
とゆもよ  
すみのう

アロシ  
波のねの日元  
るよきぬれ  
てのね

ヨミヤフ

蓮生

にうてもわ  
こりなまく  
ぬ花よりきく  
てのゆ

すみてかひむ  
ひかみ  
かよひ  
うき色

門也  
子也

おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ  
おもてのせうじ

لـ  
كـ  
مـ  
دـ  
رـ  
سـ  
هـ

本居宣長

દુર્ગા  
દુર્ગા  
દુર્ગા  
દુર્ગા  
દુર્ગા  
દુર્ગા  
દુર્ગા

ప్రా  
ప్రా  
ప్రా  
\* 2  
ప్రా

卷之三

卷之三

This vertical strip of a traditional Japanese textile, likely a panel from a screen or a decorative panel, features a delicate, stylized floral or leaf motif. The design is composed of thin, dark brown lines forming intricate patterns of leaves and flowers, with some areas filled with a lighter green or brownish hue. The background is a light, textured yellow or cream color. The overall style is characteristic of Edo-period textile designs.

萬葉集

This vertical column of Chinese characters is written in a cursive or semi-cursive script. The characters are fluid and expressive, with varying stroke thicknesses. The paper has a distinct yellowish-brown hue, characteristic of old documents. There are some minor dark spots and slight variations in the paper's texture throughout the column.

朝顔

うらの露  
すまぬかな  
むさや  
トの

王葛

あくろわ  
をきると  
いふすま  
ひきわ

王葛

王葛

いふ  
もと  
とき  
せよ

初音

かきまど  
おめり  
もめり



胡蝶

コテラ

花そのこゑと

おもむく  
たゞさす  
よしや

赤錦地  
のうじ  
まくら  
ひもねと

まくら  
ひもねと

草

トコツ

みてこの

いわゆる

ひとの

合にづく  
花と

ほの  
あらわ  
よめやの

野人集

凡

さつき

まよせ

ゆふ

わすめまき

こすりまき

おもひまき



首

禪

フチハリ

とすのくせ

アヤ

りしも

かとも

もじも

巻

様

いはへどて富

はねのうし

まきぬよ

みきさく

梅枝

メイザク

花のふうす  
えきよこゆらゆや

うらじゆす  
あくくいゆり

若菜上

ワカナ

ひまわりを  
さかひふひきてや  
せんべのこゑもむ  
うづもむ

首長紫

フヂノウラバ

もくじにまれ  
ほのくとけく  
もくふく  
こきしたの  
まん

あ葉下

アハタ

スヤヒタナビト  
月きく  
あせこ  
そのまき  
スル人

柏木 カニギ

横笛

かくはん  
とおり  
のういじ  
とまし  
とまし

よこやえのじ  
ましまくわ  
じきか  
つまくわ  
せきか  
あくわ

卷之二

ウギリ

あ る り  
と や い  
ま る め  
た そ も  
く も も  
し い も  
い そ も  
の の

雨

あめ  
あめ  
あめ  
あめ  
あめ

句  
二  
五

雨

みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色

御  
法

雨

あめ  
あめ  
あめ  
あめ  
あめ

紅  
梅

雨

みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色  
みえぬ色

幻  
燈

竹川

みけ川のゆき歩  
いとへじとゆくに  
ゆきのとこ  
もくさうや

橋姫

もくい色のゆき  
全てみくすに  
さかのとくす  
社むきゆる

椎本

ひつよしげや  
この見じるは  
じきよこみゆ  
ゆよろれ

上卷

うわゆす  
みつきゆうと  
もくびこの  
ちかとこみゆ  
うものもえ

早巣  
オワラニ

おのぞりはこまひ、  
えせんみだ人の  
りこよつる  
ミ〇のさくふ

東屋  
アツコロ

かこしるじく  
きくわめうすよの  
めまるやどかる  
あまきとせぐ

宣木  
ヤドリキ

むとう木と  
かりひ生ずい  
とひむすい子の  
まひわくはし

浮舟  
ヨウス

はらものよまと  
のきはくよしと  
のうれよもと  
ゆくふきよの

月日  
蜻蛉

うとうとくひよは  
うきだみれお  
ゆくもとくに  
まえ



のうが  
の川の  
やきせと  
れうき



